

2020年11月4日

株式会社 四国銀行

バイオマス発電事業にかかるプロジェクトファイナンス案件に 四国アライアンス4行で参画

四国銀行（頭取 山元 文明）、阿波銀行（頭取 長岡 奨）、百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）および伊予銀行（頭取 三好 賢治）は、今般、再生可能エネルギー分野に対する新たな取組みとして、4行共同で千葉県市原市におけるバイオマス発電事業に対するプロジェクトファイナンスに参画し、融資を実行しましたのでお知らせいたします。

四国アライアンスでは、環境問題を重要な課題として捉えており、今後もプロジェクトファイナンスをはじめとする、さまざまなファイナンス手法を活用することで、再生可能エネルギー分野をはじめとした大規模案件に対するお客さまの資金調達を支援してまいります。

記

1. 融資実行日 2020年9月30日（水）

2. 案件概要

貸出先名	市原八幡埠頭バイオマス発電合同会社 職務執行者 広瀬 路子 (バイオマス発電設備の建設・運営のために設立したSPC)
スポンサー	アミネットパワー(東京ガスの100%子会社)
融資金額	シブーン 435 億円
資金使途	千葉県市原市における木質バイオマス専焼火力発電所建設資金
アレンジャー コ・アレンジャー	千葉銀行 伊予銀行・横浜銀行
参加金融機関	アレンジャーが招聘する金融機関(全国の地方銀行を中心に20の金融機関が参加)
事業地	千葉県市原市八幡海岸通2番10
発電容量	75.0MW
売電先	東京電力パワーグリッド
売電単価・期間	24円(税抜)/kWh、20年間固定
商業運転開始	2024年1月(予定)

以上